

ID&Eホールディングス 社内環境整備・労働安全衛生に関する行動ガイドライン

ID&E ホールディングス・グループ（以下 ID&E グループ）は、「社内環境整備・労働安全衛生方針」に基づき、以下の取り組みを進めます。

1. 役員や従業員、その家族の健康づくり

グループ全体で「健康経営」を推進し、役員や従業員、その家族の心身の健康保持・増進に取り組めます。健康診断を中心に「疾病予防」や「重症化予防」に重点を置き、さまざまな健康リスクを早期に把握して適切な治療・改善につなげる体制を整備します。また、診断後のフォローアップやデータ分析を通じて施策を改善し、健康経営の質を高めます。

2. バリューチェーンにおける安全衛生と健康への配慮

労働安全衛生関連法および社内規程を遵守しながら、企業活動のあらゆる場面で働く人の安全衛生と健康に配慮します。「労働安全衛生マネジメント体制」を構築し、業務上の事故や傷病の予防、労働災害の根絶を目指します。この取り組みを、バリューチェーン全体へと広げます。

3. ワークライフバランスとワークライフシナジー

ID&E グループで働く一人ひとりが、やりがいを感じながらさまざまなライフスタイルを実現できる「働き方改革」を推進します。過重労働防止のため、業務の効率化や適正な業務配分を進め、労働の質の向上に取り組めます。仕事と生活の調和（ワークライフバランス）だけでなく、互いに好影響を与え合う（ワークライフシナジー）職場環境を整えます。

4. 職場インフラの整備と拡充

労働の質と生産性の向上を追求し、業務内容に適した就業場所を提供します。社内 DX を推進し、業務の効率化を目的とした職場環境インフラの整備と拡充を進めます。

5. 健康・安全衛生管理意識の向上

オンライン健康セミナーや衛生教育、管理職向け研修などを通じて、フィジカルとメンタル両面の健康意識を高めます。また、安全対策の実施状況をモニタリングし、労働災害防止のための PDCA サイクルを継続的に回し、役員・従業員の安全意識を高めます。

策定 2024. 5. 15

改訂 2026. 3. 19